

柏崎市水ビジョン～経営戦略～

上下水道局

1 策定の趣旨と位置付け

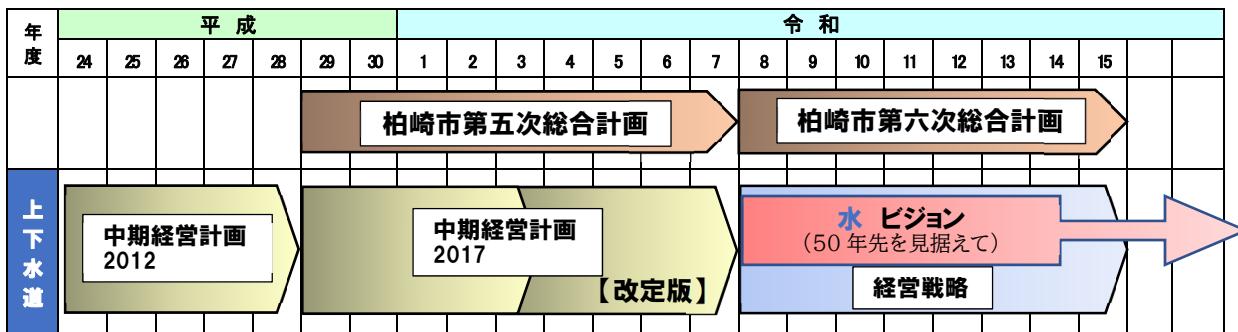
厚生労働省は、平成25（2013）年3月に水道を取り巻く状況の大きな変化を踏まえ、来るべき時代に挑戦するための「新水道ビジョン」を策定・公表し、各水道事業体に地域の実情に即した「水道ビジョン」の策定を推奨しています。同じく下水道についても、国土交通省から平成26（2014）年7月に「新下水道ビジョン」が示されています。

また、総務省では、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の令和2（2020）年度までの策定と、令和7（2025）年度までの改定を求めています。

当局ではこれまで、これらを総合的に包括した『中期経営計画2012』、『中期経営計画2017』を策定し、令和3（2021）年12月に現計画である『中期経営計画2017【改定版】』を策定しました。今年度でこの計画が最終年度を迎えることから、計画名も刷新し『柏崎市水ビジョン～経営戦略～』を策定するものです。

2 計画期間

おおよそ50年先の将来像を見据えた「ビジョン」に対して、「経営戦略」では、令和8（2026）年度から令和15（2033）年度までの8年間の投資・財政計画をまとめました。



3 将来の事業環境

本市水道の行政区域内（柏崎市・刈羽村）人口は、経年的に減少傾向に推移しており、今後も少子化の影響により減少傾向で推移する見込みです。

将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」によると、令和32（2050）年度の柏崎市の推計人口は51,217人、刈羽村が3,532人となり、合計54,749人となっており、令和2（2020）年度（85,906人）から31,157人の減少が推定されています。おおむね30年間で約36%の減少が見込まれます。

内部環境としては「施設の老朽化」が挙げられます。今年1月に埼玉県八潮市で発生した老朽下水道管が原因とされる大規模な道路陥没事故以来、全国的にも老朽管対策が問題となっています。

本市においては、現在このような危険な管路等はありませんが、今後は、上下水道ともに老朽化が進行していきます。また、上下水道事業に係わる職員不足や高齢化が加速度的に進行し、将来的には施設の維持管理・更新体制に深刻な影響を及ぼすおそれがあります。

人口減少により料金・使用料収入が減る中で、更新や再構築に当たっては、適切な規模での効率的かつ効果的な再投資を実施し、優先順位を付けての計画的な更新が必要不可欠となり、より一層の経営の効率化や経営状況に対するお客さまの理解が必要となります。また、設備管理のデジタル化やIoTを活用した遠隔監視での巡回や点検の省力化、技術継承のデジタル化、外部リソース（資源）活用と共同化などDXを活用し、市民サービスの向上に努める必要があります。

4 基本理念

基本理念は前計画から継続し、

「柏崎市上下水道局は、お客さまに、安全で安心できる快適なサービス

『お客さまの信頼を未来につなぐ上下水道』を将来にわたり安定的に提供します。』としました。

5 将来像と実現方策

基本理念から将来像（ビジョン）とこれを実現するための実現方策は次のとおりです。

また、ビジョンごとに目標指標（KPI）を設定し、毎年度進行管理を実施します。

区分	将来像：ビジョン	実現方策（★最重要事業）
水道	ア 安全 でおいしい水道水の供給	★ 水質管理事業 ・給水装置保全事業・貯水槽水道管理事業・未給水区域水道管理事業・毎日水質検査自動測定化事業・快適な水圧推進事業・ダム湖水質改善事業・水安全対策推進事業
	イ 強靭 で災害に強い水道施設の構築	・貯水施設長寿命化事業★ 浄水施設更新事業 ・配水施設更新事業・老朽管更新事業・谷根地区水道施設更新事業・高柳地区水道施設更新事業・水管橋保全事業・基幹管路耐震化事業・重要施設耐震化事業・危機管理マニュアル更新事業・災害対策推進事業
	ウ 持続可能 な経営	・水道施設最適化推進事業・西山地区配水区統合事業・水道施設照明LED化事業★ 有効率・有収率向上事業 ・水道料金検討事業・企業債適正化事業・水道スマートメーター導入事業(DX)・民間の手法検討事業・水道施設環境対策推進事業・再生可能エネルギー導入研究事業・組織機構検証事業・人材育成事業・水道情報ポータル検討事業(DX)・電子請求・決済導入事業
	エ シビックプライド の増進	★「柏崎の水道」育成事業・水源池・谷根ダム・赤岩ダム環境整備事業
下水道	オ 安全 な暮らしを守る下水道の提供	★ 公共下水道事業計画（雨水管理総合計画策定） ・雨水幹線改良事業・柏崎市内水ハザードマップ作成業務・柏崎雨水ポンプ場原動機改良工事
	カ 強靭 で災害に強い下水道施設の構築	★ 柏崎市下水道ストックマネジメント計画 ・自然環境浄化センター改築更新事業・石地アメニティライフセンター改築更新事業・農業集落排水施設機能強化事業・管路耐震化事業・自然環境浄化センター改築耐震化事業・石地アメニティライフセンター改築耐震化事業・公共下水道施設耐水化事業
	キ 持続可能 な経営	・農業集落排水事業施設統合検討事業★ 不明水対策事業 ・ウォーターPPPの導入検討
	ク 脱炭素と資源利用 の推進	★ 消化ガス発電設備更新事業 ・下水道における未利用エネルギー活用

6 財政収支の見通し

緊急度に応じて事業を精査し、極力支出を抑えた計画としていますが、人口減少による料金収入の減少や物価上昇の影響は大きく、収入と支出の均衡を図るためにには、経営戦略上で料金改定が必要であると判断しております。

これらはあくまでも当計画上での予定であり、改定率を低く抑えることや、改定年度を遅らせるための経営努力を重ねていますが、今後は5年間の総括原価を算出し、これに見合う料金・使用料設定として5年に1回程度の料金・使用料を改定し、応分の受益者負担をお願いする必要があります。

この「柏崎市 水 ビジョン～経営戦略～」を当局最上位計画と位置付け、財政計画の見直しを行いながら、来年度以降8年間この計画により事業を執行していきたいと考えております。